

金沢大学 資料館だより

No.7

KANAZAWA UNIVERSITY MUSEUM NEWSLETTER



1. 龍護寺旧蔵地藏菩薩立像

目次

計算機たち、あるいは人類の 果てしない欲望	2
龍護寺旧蔵の彫像類について	4
金沢大学資料館所蔵 考古学資料紹介(1)	6
四高考古資料と北陸人類学会	10
資料館集報・新収蔵資料紹介	12

ユニバーシティ・ミュージアムへ

昨年4月から今井治男先生（教育学部）の後を引き継ぐことになりました。

本学における資料館の役割・位置付け・将来像などというようなことを折にふれて考えています。金沢大学には、これまでに培われた本学特有のアカデミズムの雰囲気があります。第一期移転が完了したばかりのここ角間キャンパスにも、そのようなものが徐々に醸成されていくのが感じられます。このような雰囲気をより昇華させ、金沢大学特有のアカデミズムの佇まいをつくり出してゆくことに貢献することが本資料館の重要な役割であると考えます。資料館が足がかりとなってユニバーシティ・ミュージアムへと発展すればと考えています。学内の様々な分野の方々の御協力をいただきながら、この夢を叶えるための第一歩としての要求書作りにまでこぎ着けることが出来るようにと努めています。

大変微力ですが、資料館の発展に努めさせていただくつもりです。資料館について御意見・御批判をいただければこの上なく幸いに思います。

資料館長・大橋信喜美（理学部）